

平成 25 年度 事業報告概要

平成 25 年度は、「第 4 次 横須賀市社会福祉協議会 地域福祉活動計画」の初年度として、計画の周知を図るとともに、基本理念である「わたしがつくる みんなでつくる 一人ひとりが住みやすいまち 横須賀」の実現に向け、地域住民、町内会・自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、ボランティア団体、社会福祉事業者、当事者、関係機関・団体、企業、行政などすべての方々と協働して、事業を進めてきました。

さらに、多様化する地域の福祉ニーズに対応できるよう、すべての人々と協力し、地域福祉の推進を図り、円滑な事業執行に努めました。

1 誰もが自分らしく暮らしていくことができるように、多様な支え合いを形にしていこう

日常生活自立支援事業では、多くの課題を抱えた利用者が増えており、審査会において、サービスの提供状況のみでなく、課題の整理等の協議を行い、関係機関との連携・調整を充分に図りながら、利用者の生活の安定と権利擁護の観点からも対応を行いました。

よこすか市民後見人等運営事業は、市民後見人の登録・活用はもとより、よこすか市民後見人像やあり方等について、よこすか市民後見人等運営事業推進会議で検討を行い、次期の養成研修に向けて課題を整理しました。

また、成年後見制度の普及啓発のための講座等を開催しました。

生活支援事業や各種援護事業においては、関係機関や施設・団体等の協力により、「生活福祉資金貸付事業」、「ふれあいお弁当事業」、「福祉機器の展示」、「介護相談事業」、各地区社協等と協力した「たすけあい資金貸付事業」、「ハンディキャブによる送迎活動事業」等を実施し、誰もが安心して生活できるために、地域において、問題や悩みを解決できるように、他の相談機関や窓口、サービス提供機関等と協働し各種相談事業等を実施して、課題解決に向けて連携をしました。

2 ご近所同士仲良くして地域の力を高めよう

18 地区社会福祉協議会における活動の支援と課題の共有のために、地区社協会長会議、地区社協活動分野別連絡会を開催しました。

また、社会福祉推進委員の活動の推進と充実のために新任研修、民生委員児童委員と合同の全体研修を行いました。

市内各地で、高齢者・子育て・障害者複合型や対象者を限定しないサロン活動が実施されました。

3 地域にはさまざまな人たちがいることを理解し、誤解・偏見のない地域づくりに努めていこう

市民参加型の福祉イベントとして「「やさしさ広がれ」ふれあいフェスティバル」を市内の企業や団体、福祉施設、地域作業所、ボランティア団体等の参加・協力により開催しました。

「高校生福祉体験学習（はまゆうキャンプ）」、高校生・大学生などが実行委員会をつくり、企画から運営まで、主体的に取り組む「ふれあいキャンプ」、障害やボランティアについて学ぶ「小・中・高ボランティアスクール」など、地区社協や福祉施設、養護学校、ボランティアグループと協力し行いました。

4 自分にあつた情報を得て役立てよう

「よこすか社協だより」やホームページで、被災地の現状と支援の状況、市社協や地域の福祉活動、ボランティア、成年後見制度等についての情報提供を行いました。

5 身近な地域の福祉活動を進めていこう

第4次地域福祉活動計画を理解し、ともに取り組みを進めるため、18地区社会福祉協議会と地区懇談会を開催しました。

また、地区社協の活動推進等のため助成を行いました。

横須賀ボランティアセンターにおいては、ボランティアの登録、需給調整をはじめ、講座の実施、「ボランティアニュース」と「活動のしおり」の発行、ホームページによる最新情報の提供、ボランティアの育成、ボランティア連絡協議会への助成を行いました。

また、「布おもちゃ・布えほん」の製作貸出、「布おもちゃ親子サロン“ポケット”ひろば」、「おもちゃの病院」、シャローム浦上台を拠点とした「パソコン広場よこすか」を実施しました。

東日本大震災被災地支援として、宮城県・岩手県内に「横須賀市民ボランティアバス」を3便運行、また、市内に避難された方の相談・交流の場として「横須賀しゃべり場」を開催しました。

6 ささまざまな人たちを支援できる活動を進めていこう

市民の参加を得て、被災地でのボランティア活動体験として、災害時ボランティアセンター設置運営訓練を実施するとともに、ボランティア、行政、市社協により災害時ボランティアセンター運営検討会を開催しました。

7 ささまざまな機関・団体・個人が協働して、大きな力を生み出していこう

共同募金運動、横浜ベイスターズ・ファームホームゲーム招待事業、横浜F・マリノスホームゲーム招待事業、多種多様な機関・団体相互の連携づくりの支援など、企業や団体、地域、福祉施設、機関・団体との連携推進を図りました。

共同募金についての実態調査を町内会・自治会、民生委員児童委員の協力を得て実施しました。

神奈川県共同募金会横須賀市支会、横須賀市民生委員児童委員協議会、横須賀市ボランティア連絡協議会、横須賀災害ボランティアネットワーク、「やさしさ広がれ」ふれあいフェスティバル実行委員会の各事務局を担い、横須賀市保育会事務局の支援を行いました。

また、湘南ブロック社協連絡協議会への参加、視察の受入れ等を行い、近隣及び他都市社協との連携を図りました。

8 円滑な法人運営をめざして

理事会・評議員会の開催、役員研修、各部会活動による会員同士の交流、実習生の受入れによる後進の育成などに取り組みました。

市社協事業・被災地支援活動などを通じて広く市民の理解を得られるように努め、会員・賛助会員の加入促進、寄付金の受入れを行いました。

また、新会計への円滑な移行に向けて準備を行いました。